



## 6/29 地域みんなで支える社会づくり 認知症サポーター養成講座



宜野湾小学校にて、5年生を対象に「認知症サポーター養成講座」が開催されました。市では「沖縄県認知症キャラバン・メイト」がボランティア講師となって講座を行い、認知症サポーターの育成を図っています。受講した児童からは「認知症に対する考えが変わりました」「認知症の方々の心の状態を知ること、認知症の方の立場に立って接することができると思います」などの声がきかれました。

## 6/30 新体制がスタート!! 沖縄コンベンションシティ会新役員訪問



NPO 法人沖縄コンベンションシティ会の関係者が、役員改正の報告とあいさつに訪れました。同会は、平成11年に発足され、沖縄コンベンションセンターを中核とした施設からの集客と西海岸地域の活性化を図っています。内藤彩子新理事長は「コロナ禍によりイベントが減るなど活動が思うように実施できていなかったため、今回の役員改正を機に一新して頑張っていきます」と意気込みを語りました。

## 7/3 教育行政の発展のために 新たな教育委員が任命されました



市役所において、宜野湾市教育委員辞令交付式が行われ、市内在住の親川利恵さんに松川市長から辞令が交付されました。親川委員は、医療事務として病院に勤務する傍ら、市内小中学校のPTA 役員を歴任された経験があります。親川委員は「医療の現場と向き、教育委員の皆さまと連携を取り合いながら教育の現場に関わっていかれたらと思います。よろしくをお願いします」とあいさつしました。

## 6/29 チームワークで優勝をつかむ! 長田小学校 2年連続優勝!



長田小学校将棋部の児童代表3名と関係者の皆さんが訪れ、文部科学大臣杯全国将棋大会沖縄県予選にて見事優勝を勝ち取り、西日本大会への派遣が決定したことを報告しました。大会は3名1組の団体戦となっており、同校は昨年に引き続き2年連続優勝となります。部長の翁長亮帆さんは「西日本大会では県代表としてしっかり勝っていきたいです」と意気込みを語りました。

## 6/30 平和な世界を繋げる 宜野湾市平和大使が認定されました



宜野湾市平和大使の認定証交付式が行われ、市内公立4中学校から各2名と沖縄国際大学生1名の計9名が認定されました。本事業は、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを学び次代へ継承していく人材育成を目的としています。普天間中学校1年の比嘉らい莉さんは「戦争のことをさらに理解し、平和な世界が続くためにはどうしたらいいのか学んでいきたいです」と抱負を述べました。

## 7/4 共に生きる地域を目指して 宜野湾市社会福祉協議会新役員就任あいさつ



宜野湾市社会福祉協議会の関係者が市役所を訪れ、6/28付けで新役員に就任したことの報告とあいさつを行いました。社会福祉協議会は、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動までさまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。富川盛光新会長は「市民の皆さまや関係団体と力を合わせて取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします」とあいさつしました。

## 6/7 市民の安心、安全のためのご協力に感謝します 株式会社丸内との協定締結式



市役所において、宜野湾市と株式会社丸内との「災害時における消防応急対策業務に関する協定」の締結式が執り行われました。この協定は、市民の生命、身体および財産を災害から保護するために、消防活動を迅速かつ確に実施することを目的としています。伊豆味俊規代表取締役は「災害時の応急対策業務に対して資材、機材、および労力の支援が出来ることを嬉しく思います」とあいさつしました。

## 6/9 テント寄贈を通して、地域に貢献 「商工会の日」PR事業 パウロテント寄贈式



市役所にて、宜野湾市商工会（長堂昌太郎会長）より、「商工会の日」のPR事業として市内認可保育園へテントの寄贈式が行われました。今年度はきよな保育園、こがねの森保育園へパウロテントの寄贈が行われ、長堂会長は「沖縄の暑さから子どもたちを守りたいとの要望をうけて10年前に始めました。これからも、テント寄贈を通して地域に貢献していきたいです」とあいさつしました。

## 6/10 ガジュマルが見守る温かな学び舎 普天間小学校落成式



令和2年より行われていた、普天間小学校校舎・水泳プール増築工事が令和5年1月に完成したことを受け、「普天間小学校落成式」が同校体育館において執り行われました。松川市長は「新しい普天間小学校が、次代を担う児童の成長する場として、愛着をもって末永く使用していただけたら嬉しいです」とあいさつしました。同校は、引き続き屋外教育環境の整備を行ってまいります。

## 6/7 21年ぶりの快挙です! 宜野湾市からチャンピオンが誕生しました!



宜野湾市出身のプロボクサー仲里周磨選手（ボクシングクラブオキナワ）と関係者が訪れ、第64代日本ライト級チャンピオンに輝いたことを報告しました。県内ジム所属の男子選手としては、東洋太平洋スーパーバンダム級王者となった父親の仲里繁さん以来21年ぶりです。仲里選手は「ライト級は層が厚く、厳しい階級となりますが、努力と研鑽を重ねて世界に近づけるよう頑張ります」とあいさつしました。

## 6/9 思い出の場所に恩返し 大山小学校「ふたごぶんこ」寄贈式



大山小学校にて、安仁屋真昭さんと桃原和子さんより524冊の本の贈呈式が行われました。85歳のトゥシビー（生年祝い）を迎えるにあたり、思い出深い小学校に恩返しをしたい思いから、今回の寄贈の運びとなりました。安仁屋さんは「皆さんには、学校図書を通して豊かな心を育ててほしいです」と話し、桃原さんは「卒業するまでにたくさんの本を読んでいただけたら嬉しいです」と思いを語りました。

## 6/12 地域の交通安全を守ります! 宜野湾市交通指導員委嘱状交付式



市役所にて宜野湾市交通指導員への委嘱状交付式が行われました。市交通指導員は、市民の交通事故防止および交通道徳の高揚を図り、あわせて市内の交通秩序を確保することを目的としており、任期は2年となっております。1988年から交通指導員を続けている中原区の宇江城昌健会長は「これから気候的にも厳しい時期がやってくるが、暑さに負けぬよう元気に活動する」とあいさつしました。